

届出排出量・移動量に関する平成14年度データと平成13年度データ()との比較

化学物質排出把握管理促進法に基づき事業者から届出のあった排出量及び移動量の集計結果について、平成14年度データと平成13年度データとの比較を行いました。

主な比較内容は以下のとおりです。

届出のあった事業所数比較

事業者から届出のあった全国の事業所の総数は、平成13年度は34,820、平成14年度は34,517であり、わずかに減少しているもののほぼ同数となっており、特に大きな届出状況の変化はありませんでした。

届出排出量・移動量比較

平成14年度の届出排出量は、前年度比で、全体として 7.1% (22千トン) 減少しました。

内訳としては、大気への排出が 8.5% (24千トン) 減、公共用水域への排出が 4.8% (0.60千トン) 減、事業所内の土壌への排出が30% (71トン) 増、及び事業所内埋立処分が9.7% (2.0千トン) 増となっています。

また、平成14年度の届出移動量は、全体として前年度とほぼ同様 (0.51% (1.1千トン) 増) でした。

内訳としては、廃棄物としての事業所外への移動がほぼ同様 (0.98% (2.1千トン) 増)、下水道への移動が 25% (0.98千トン) 減となっています。

この結果、届出排出量・移動量の合計では 4.0% (21千トン) 減少しました。

平成13年度データについては、昨年3月の公表後に変更のあった届出事項の修正したものを用いています。

(1)平成14年度と平成13年度の届出状況の比較

届出のあった全国の事業所総数は、14年度は34,517事業所、13年度は34,820事業所でした。

届出方法別にみた届出状況の比較（（ ）内は全届出に占める割合）

	14年度	13年度
・紙による届出	31,239(90.5%)	32,293(92.7%)
・磁気ディスク（フロッピーディスク等）による届出	2,023(5.9%)	2,061(5.9%)
・電子情報処理組織（オンライン）による届出	1,255(3.6%)	466(1.3%)

業種別にみた届出状況の比較 上段：14年度 下段：13年度

業 種	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	業 種	年度	届出数	届出物質 種類数
金属鉱業	14	18	31	武器製造業	14	5	12
	13	17	16		13	4	9
原油・天然ガス鉱業	14	30	34	その他の製造業	14	379	85
	13	30	33		13	385	100
食料品製造業	14	337	32	電気業	14	108	42
	13	412	40		13	129	47
飲料・たばこ・飼料製造業	14	98	19	ガス業	14	43	13
	13	100	20		13	43	15
繊維工業	14	213	62	熱供給業	14	5	9
	13	234	66		13	8	9
衣服・その他の繊維製品製造業	14	41	34	下水道業	14	1,507	32
	13	42	36		13	1,458	39
木材・木製品製造業	14	227	27	鉄道業	14	41	11
	13	268	31		13	44	11
家具・装備品製造業	14	99	28	倉庫業	14	126	59
	13	122	24		13	126	61
パルプ・紙・紙加工品製造業	14	308	77	石油卸売業	14	593	7
	13	331	81		13	511	8
出版・印刷・同関連産業	14	300	34	鉄スクラップ卸売業	14	8	9
	13	317	40		13	9	10
化学工業	14	2,088	331	自動車卸売業	14	39	5
	13	2,087	334		13	45	6
石油製品・石炭製品製造業	14	175	79	燃料小売業	14	18,386	11
	13	199	73		13	18,633	10
プラスチック製品製造業	14	828	119	洗濯業	14	115	12
	13	848	126		13	129	13
ゴム製品製造業	14	225	66	写真業	14	1	1
	13	235	65		13	2	1
なめし革・同製品・毛皮製造業	14	24	16	自動車整備業	14	164	8
	13	21	16		13	136	8
窯業・土石製品製造業	14	446	66	機械修理業	14	18	16
	13	442	79		13	20	14
鉄鋼業	14	307	45	商品検査業	14	5	6
	13	328	57		13	5	6
非鉄金属製造業	14	480	78	計量証明業	14	11	5
	13	470	75		13	9	5
金属製品製造業	14	1,297	68	一般廃棄物処理業	14	2,083	41
	13	1,327	74		13	1,920	46
一般機械器具製造業	14	469	51	産業廃棄物処分業	14	527	47
	13	502	53		13	532	50
電気機械器具製造業	14	1,076	87	高等教育機関	14	73	24
	13	1,096	90		13	78	7
輸送用機械器具製造業	14	901	88	自然科学研究所	14	133	28
	13	890	91		13	119	27
精密機械器具製造業	14	160	38	合計	14	34,517	333
	13	157	35		13	34,820	337

都道府県別にみた届出状況の比較 上段：14年度 下段：13年度

都道府県	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	都道府県	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数	都道府県	年度	届出 事業所数	届出物質 種類数
北海道	14	1,961	125	石川県	14	491	103	岡山県	14	854	166
	13	1,961	133		13	490	96		13	847	164
青森県	14	344	61	福井県	14	374	129	広島県	14	878	173
	13	341	60		13	349	122		13	908	177
岩手県	14	455	65	山梨県	14	345	68	山口県	14	567	188
	13	354	63		13	327	67		13	569	192
宮城県	14	673	94	長野県	14	1,191	95	徳島県	14	285	115
	13	668	91		13	1,200	96		13	252	113
秋田県	14	505	67	岐阜県	14	773	114	香川県	14	339	81
	13	501	65		13	816	118		13	350	80
山形県	14	525	82	静岡県	14	1,474	185	愛媛県	14	425	129
	13	560	84		13	1,534	187		13	431	135
福島県	14	852	169	愛知県	14	2,071	167	高知県	14	185	45
	13	912	187		13	2,150	168		13	196	46
茨城県	14	967	178	三重県	14	549	161	福岡県	14	1,270	142
	13	966	185		13	676	160		13	1,339	144
栃木県	14	696	127	滋賀県	14	513	126	佐賀県	14	381	96
	13	727	125		13	508	128		13	398	93
群馬県	14	657	126	京都府	14	535	131	長崎県	14	475	54
	13	704	123		13	523	122		13	484	46
埼玉県	14	1,362	169	大阪府	14	1,642	175	熊本県	14	596	83
	13	1,339	165		13	1,639	181		13	644	87
千葉県	14	1,183	166	兵庫県	14	1,542	178	大分県	14	333	100
	13	1,133	164		13	1,515	180		13	322	104
東京都	14	1,087	109	奈良県	14	293	77	宮崎県	14	351	94
	13	1,123	110		13	245	77		13	364	92
神奈川県	14	1,540	161	和歌山県	14	234	124	鹿児島県	14	468	70
	13	1,563	160		13	226	122		13	413	70
新潟県	14	1,005	135	鳥取県	14	265	44	沖縄県	14	156	41
	13	1,048	136		13	255	45		13	128	40
富山県	14	575	118	島根県	14	275	67	合計	14	34,517	333
	13	580	121		13	242	66		13	34,820	337

(2) 全国の届出排出量・移動量の対前年度比較

排出先別の届出排出量・移動量の比較については、表1に示しています。

平成14年度（以下、特に年度を明示していない排出量等については14年度のものを指す。）に事業者から届出のあった総届出排出量・移動量は508千トンで対前年度 21千トン（前年度比 4.0%）の減、総排出量は290千トンで同 22千トン（同 7.1%）の減、総移動量は217千トンで同1.1千トン（同0.5%）の増となっています。

排出量の内訳は、大気への排出は256千トンで同 24千トン（同 8.5%）の減、公共用水域への排出は12千トンで同 0.60千トン（同 4.8%）の減、土壌への排出は0.30千トンで同71トン（同30%）の増、事業所内の埋立処分は22千トンで同2.0千トン（同 9.7%）の増となっています。

一方、移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動は214千トンで同2.1千トン（同1.0%）の増、下水道への移動は3.0千トンで同 0.98千トン（同 25%）の減となっています。

表1 平成14年度及び平成13年度の届出排出量・移動量の排出先別比較

排出先		平成14年度:(a)	平成13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比 (a)/(b)%
排出量 (トン/年)	大気	255,676	279,482	-23,805	91.5%
	公共用水域	12,031	12,631	-600	95.2%
	土壌	305	234	71	130.2%
	埋立	22,441	20,451	1,990	109.7%
	合計	290,453	312,798	-22,344	92.9%
移動量 (トン/年)	廃棄物移動	214,498	212,415	2,083	101.0%
	下水道への移動	2,995	3,973	-978	75.4%
	合計	217,493	216,388	1,104	100.5%
排出量・移動量合計(トン/年)		507,946	529,186	-21,240	96.0%

届出排出量・移動量上位10物質

届出排出量・移動量上位10物質の比較については、表2に示しています。

上位10物質の構成は前年度とほぼ同じですが、10番目のエチレングリコールは前年度は11番目だったものです。

上位10物質の届出排出量・移動量の合計は367千トンで、同物質の前年度の合計383千トンに比べると、16千トン（前年度比 4.2%）減少しており、これを物質別にみると、トルエン（対前年度 8.1千トン減）、キシレン（同 6.2千トン減）、塩化メチレン（同 3.5千トン減）、N,N-ジメチルホルムアミド（同 2.9千トン減）等が減少し、マンガン及びその化合物（同5.2千トン増）等が増加しています。

表2 平成14年度届出排出量・移動量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		届出排出量・移動量合計(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比 (a)/(b)%
1	227	トルエン	169,857	178,002	-8,145	95.4%
2	63	キシレン	59,100	65,338	-6,238	90.5%
3	145	塩化メチレン	33,780	37,308	-3,528	90.5%
4	311	マンガン及びその化合物	29,200	23,953	5,247	121.9%
5	230	鉛及びその化合物	16,989	17,560	-572	96.7%
6	172	N,N-ジメチルホルムアミド	13,406	16,291	-2,885	82.3%
7	68	クロム及び三価クロム化合物	12,868	13,541	-672	95.0%
8	40	エチルベンゼン	12,725	12,555	171	101.4%
9	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	10,466	10,404	62	100.6%
10	43	エチレングリコール	8,379	7,936	443	105.6%
	上位10物質の合計		366,771	382,887	-16,116	95.8%
	合計		507,946	529,186	-21,240	96.0%

届出排出量上位 10 物質

届出排出量上位10物質の比較については、表3に示しています。

上位10物質の構成は前年度と同じですが、4番目以下において順位の変動がみられます。

上位10物質の届出排出量の合計は243千トンで、同物質の前年度の合計261千トンに比べると 18千トン（前年度比 7.0%）減少しており、これを物質別にみると、トルエン（対前年度 9.6千トン減）、キシレン（同 5.1千トン減）、二硫化炭素（同 2.1千トン減）、塩化メチレン（同 1.9千トン減）、N, N - ジメチルホルムアミド（同 1.1千トン減）等が減少し、砒素及びその無機化合物（同1.2千トン増）等が増加しています。

表3 平成14年度届出排出量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		排出量合計(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	227	トルエン	122,910	132,546	-9,636	92.7%
2	63	キシレン	47,335	52,391	-5,056	90.4%
3	145	塩化メチレン	25,406	27,342	-1,935	92.9%
4	40	エチルベンゼン	9,873	9,159	714	107.8%
5	230	鉛及びその化合物	9,562	9,253	309	103.3%
6	252	砒素及びその無機化合物	7,182	6,016	1,165	119.4%
7	211	トリクロロエチレン	6,048	6,346	-299	95.3%
8	172	N, N - ジメチルホルムアミド	5,217	6,334	-1,116	82.4%
9	241	二硫化炭素	4,997	7,078	-2,082	70.6%
10	311	マンガン及びその化合物	4,503	4,792	-289	94.0%
		上位10物質の合計	243,033	261,257	-18,224	93.0%
		合計	290,453	312,798	-22,344	92.9%

1)大気への届出排出量上位10物質

大気への届出排出量上位10物質の比較については表4に示しています。

上位10物質の構成は前年度とほぼ同じですが、5番目、6番目のトリクロロエチレンと二硫化炭素は前年度と順位が入れ替わり、10番目のテトラクロロエチレンは前年度は11番目だったものです。

上位10物質の大気への届出排出量の合計は231千トンで、同物質の前年度の合計252千トンに比べると、 21千トン（前年度比 8.2%）減少しており、これを物質別にみると、トルエン（対前年度 9.6千トン減）、キシレン（同 5.1千トン減）、二硫化炭素（同 2.0千トン減）、塩化メチレン（同 1.9千トン減）、N, N - ジメチルホルムアミド（同 1.4千トン減）等が減少しています。

表4 平成14年度大気への届出排出量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		大気への届出排出量(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	227	トルエン	122,790	132,419	-9,629	92.7%
2	63	キシレン	47,305	52,355	-5,050	90.4%
3	145	塩化メチレン	25,386	27,322	-1,936	92.9%
4	40	エチルベンゼン	9,871	9,157	715	107.8%
5	211	トリクロロエチレン	6,044	6,341	-297	95.3%
6	241	二硫化炭素	4,905	6,938	-2,033	70.7%
7	172	N, N - ジメチルホルムアミド	4,614	6,040	-1,425	76.4%
8	177	スチレン	4,130	4,594	-464	89.9%
9	96	塩化メチル	3,867	4,403	-536	87.8%
10	200	テトラクロロエチレン	2,323	2,296	27	101.2%
		上位10物質の合計	231,237	251,864	-20,627	91.8%
		合計	255,676	279,482	-23,805	91.5%

2) 公共用水域への届出排出量上位10物質

公共用水域への届出排出量上位10物質の比較については表5に示しています。

上位10物質の構成は前年度とほぼ同じですが、5番目以下では順位の変動がみられ、5番目に多いN, N - ジメチルホルムアミドは前年度は7番目、9番目のチオ尿素は前年度は17番目だったものです。

上位10物質の公共用水域への届出排出量の合計は9.8千トンで、同物質の前年度の合計9.9千トンに比べると0.11千トン（前年度比1.1%）減少しており、これを物質別にみると、エチレングリコール（対前年度0.40千トン減）、ふっ化水素及びその水溶性塩（同0.31千トン減）等が減少し、N, N - ジメチルホルムアミド（同0.31千トン増）、ほう素及びその化合物（同0.26千トン増）等が増加しています。

表5 平成14年度公共用水域への届出排出量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		公共用水域への届出排出量(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	2,929	3,236	-307	90.5%
2	304	ほう素及びその化合物	2,392	2,130	262	112.3%
3	43	エチレングリコール	1,449	1,845	-396	78.5%
4	311	マンガン及びその化合物	1,085	1,039	47	104.5%
5	172	N, N - ジメチルホルムアミド	603	294	309	205.1%
6	1	亜鉛の水溶性化合物	561	640	-78	87.7%
7	307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	219	226	-7	96.9%
8	61	- カプロラクタム	205	200	6	102.8%
9	181	チオ尿素	180	115	65	156.5%
10	95	クロロホルム	169	174	-6	96.7%
		上位10物質の合計	9,792	9,899	-107	98.9%
		合計	12,031	12,631	-600	95.3%

3) 事業所内の土壌への届出排出量上位10物質

土壌への届出排出量上位10物質の比較については、表6に示しています。

上位10物質の構成は、前年度とほぼ同じですが、3番目以下においては順位の変動がみられます。3番目のビスフェノールA型エポキシ樹脂は前年度は7番目で、5番目のメタクリル酸メチルは前年度は18番目だったものです。

上位10物質の土壌への届出排出量の合計は0.30千トンで、同物質の前年度の合計0.23千トンに比べると、72トン（前年度比31%）増加しており、これを物質別にみるとエチレングリコール（対前年度69トン増）が増加しています。

表6 平成14年度事業所内の土壌への届出排出量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		事業所内の土壌への届出排出量(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	43	エチレングリコール	251	181	69	138.2%
2	177	スチレン	42	46	-4	90.9%
3	30	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状のものに限る。)	5.1	0.3	4.7	1460.3%
4	243	バリウム及びその水溶性化合物	4.6	3.8	0.8	121.7%
5	320	メタクリル酸メチル	0.7	0.0	0.7	1820.5%
6	230	鉛及びその化合物	0.6	0.1	0.5	677.9%
7	311	マンガン及びその化合物	0.4	0.0	0.3	1508.3%
8	63	キシレン	0.1	0.4	-0.2	36.0%
9	227	トルエン	0.1	0.2	-0.1	58.9%
10	272	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.1	0.0	0.0	154.8%
	上位10物質の合計		304	232	72	130.9%
	合計		305	234	71	130.2%

4)事業所内の埋立処分の届出排出量上位10物質

埋立処分の届出排出量上位10物質の比較については、表7に示しています。

上位10物質の構成は前年度とほぼ同じですが、4番目に多いアンチモン及びその化合物は前年度は21番目だった物質であり、前年度で8番目のテレフタル酸ジメチルは、埋立処分としての届出がありませんでした。

上位10物質の埋立処分の届出排出量の合計は22千トンで、同物質の前年度の合計20千トンに比べると、2.1千トン(前年度比10%)増加しており、これを物質別にみると、砒素及びその無機化合物(対前年度1.2千トン増)、アンチモン及びその化合物(同1.2千トン増)等が増加しています。

表7 平成14年度事業所内の埋立処分の届出排出量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		事業所内の埋立処分の届出排出量(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	230	鉛及びその化合物	9,485	9,165	320	103.5%
2	252	砒素及びその無機化合物	7,148	5,983	1,165	119.5%
3	311	マンガン及びその化合物	3,387	3,716	-329	91.2%
4	25	アンチモン及びその化合物	1,201	1	1,199	91663.8%
5	68	クロム及び三価クロム化合物	488	593	-105	82.4%
6	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	353	526	-173	67.1%
7	60	カドミウム及びその化合物	119	155	-36	77.0%
8	232	ニッケル化合物	113	136	-23	83.0%
9	1	亜鉛の水溶性化合物	74	12	62	615.6%
10	178	セレン及びその化合物	22	32	-10	69.2%
	上位10物質の合計		22,391	20,318	2,072	110.2%
	合計		22,441	20,451	1,990	109.7%

届出移動量上位10物質

届出移動量上位10物質の比較については表8に示しています。

上位10物質の構成は前年度とほぼ同じですが、3番目のクロム及び三価クロム化合物以下においては若干の順位の変動がみられます。

上位10物質の届出移動量の合計は138千トンで、同物質の前年度の合計137千トンに比べると、1.1千トン(前年度比0.8%)増加しており、これを物質別にみると、N,N-ジメチルホルムアミド(対前年度1.8千トン減)、塩化メチレン(同1.6千トン減)、亜鉛の水溶性化合物(同1.2千トン減)、キシレン(同1.2千トン減)等が減少し、マンガン及びその化合物(同5.5千トン増)、トルエン(同1.5千トン増)等が増加しています。

表8 平成14年度届出移動量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		移動量合計(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	227	トルエン	46,946	45,456	1,491	103.3%
2	311	マンガン及びその化合物	24,697	19,161	5,536	128.9%
3	68	クロム及び三価クロム化合物	12,324	12,868	-544	95.8%
4	63	キシレン	11,764	12,947	-1,183	90.9%
5	145	塩化メチレン	8,374	9,966	-1,592	84.0%
6	172	N,N-ジメチルホルムアミド	8,189	9,957	-1,768	82.2%
7	230	鉛及びその化合物	7,427	8,308	-881	89.4%
8	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	7,023	6,456	567	108.8%
9	43	エチレングリコール	5,791	5,118	674	113.2%
10	1	亜鉛の水溶性化合物	5,634	6,880	-1,246	81.9%
	上位10物質の合計		138,170	137,116	1,054	100.8%
	合計		217,493	216,388	1,104	100.5%

1) 事業所外への廃棄物としての届出移動量上位10物質

廃棄物としての届出移動量上位10物質の比較については表9に示しています。

上位10物質の構成は前年度とほぼ同じですが、各物質に順位の入替わりがみられ、10番目のエチレングリコールは前年度は12番目だったものです。

上位10物質の廃棄物としての届出移動量の合計は137千トンで、同物質の前年度の合計136千トンに比べると、1.1千トン（前年度比0.8%）増加しており、これを物質別にみると、N,N-ジメチルホルムアミド（対前年度1.8千トン減）、塩化メチレン（同1.6千トン減）、亜鉛の水溶性化合物（同1.2千トン減）、キシレン（同1.2千トン減）等が減少し、マンガン及びその化合物（同5.5千トン増）、トルエン（同1.5千トン増）等が増加しています。

表9 平成14年度事業所外への廃棄物としての届出移動量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		事業所外への廃棄物としての届出移動量(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	227	トルエン	46,906	45,391	1,516	103.3%
2	311	マンガン及びその化合物	24,690	19,153	5,537	128.9%
3	68	クロム及び三価クロム化合物	12,294	12,857	-563	95.6%
4	63	キシレン	11,717	12,894	-1,178	90.9%
5	145	塩化メチレン	8,366	9,965	-1,600	83.9%
6	230	鉛及びその化合物	7,427	8,307	-880	89.4%
7	172	N,N-ジメチルホルムアミド	7,241	9,003	-1,761	80.4%
8	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	6,917	6,363	554	108.7%
9	1	亜鉛の水溶性化合物	5,617	6,857	-1,240	81.9%
10	43	エチレングリコール	5,484	4,729	755	116.0%
	上位10物質の合計		136,659	135,520	1,139	100.8%
	合計		214,498	212,415	2,083	101.0%

2) 下水道への届出移動量上位10 物質

下水道への届出移動量上位10物質の比較については表10に示しています。

上位10物質の構成については、2番目以下の順位に大きく変動がみられます。

2番目のエチレングリコール、3番目のポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル、4番目のニトロベンゼンは前年度はそれぞれ3番目、6番目、7番目で、8番目のホルムアルデヒド、9番目の酸化プロピレンは前年度はそれぞれ22番目、15番目だったものです。

上位10物質の下水道への届出移動量の合計は2.2千トンで、同物質の前年度の合計2.6千トンに比べると0.45千トン(前年度比17%)減少しており、これを物質別にみると、無水フタル酸(対前年度0.28千トン減)、2-アミノエタノール(同0.15千トン減)、エチレングリコール(同81トン減)等が減少し、酸化プロピレン(同64トン増)等が増加しています。

表10 平成14年度下水道への届出移動量上位10物質の平成13年度との比較

順位	対象物質		下水道への届出移動量(トン/年)			
	物質番号	物質名	H14年度:(a)	H13年度:(b)	差:(a)-(b)	前年度比(a)/(b)%
1	172	N,N-ジメチルホルムアミド	948	955	-7	99.3%
2	43	エチレングリコール	307	389	-81	79.1%
3	307	ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物)	149	168	-19	88.6%
4	240	ニトロベンゼン	140	140	0	99.7%
5	312	無水フタル酸	120	401	-280	30.1%
6	283	ふっ化水素及びその水溶性塩	106	93	13	114.2%
7	16	2-アミノエタノール	105	256	-151	40.9%
8	310	ホルムアルデヒド	93	114	-21	81.5%
9	56	酸化プロピレン	92	28	64	328.7%
10	54	エピクロロヒドリン	90	60	30	149.3%
	上位10物質の合計		2,150	2,603	-453	82.6%
	合計		2,995	3,973	-978	75.4%

(3) 全国の特第一種指定化学物質の排出量・移動量の対前年度比較

物質別、排出先別の届出排出量・移動量の比較については、表11に示しています。

特定第一種指定化学物質の総届出排出量・移動量の合計は20千トンで対前年度0.31トン(前年度比1.6%)の増となっています。

排出量の内訳は、大気への排出は2.7千トンで同0.87千トン(同24%)の減、公共用水域への排出は0.20千トンで同11トン(同5.1%)、土壌への排出は4.0kgで同53kg(同93%)、事業所内の埋立処分は7.4千トンで同1.1千トン(同18%)の増となっています。

一方、移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動は9.6千トンで同0.10千トン(同1.1%)の増、下水道への移動は87トンで同20トン(同18%)の減となっています。

物質別にみると、砒素及び無機化合物、ニッケル化合物、六価クロム化合物並びにカドミウム及びその化合物がそれぞれ対前年度1.1千トン（前年度比18%）、同0.92千トン（同27%）、同0.27千トン（同41%）並びに同89トン（同38%）増加しています。一方、石綿、ベンゼン、塩化ビニル、ベンジリジン＝トリクロリド、エチレンオキシド、ベリリウム及びその化合物がそれぞれ同0.99千トン（同24%）、同0.72千トン（同22%）、同0.19千トン（同23%）、同0.15千トン（同66%）、同57トン（同11%）、同63kg（同4.6%）減少しています。また、ダイオキシン類については、同1.7kg-TEQ（同26%）減少しております。

砒素及びその無機化合物については事業所内埋立処分、その他については事業所外への廃棄物としての移動量が増加の要因となっています。

表11 平成14年度特定第一種指定化学物質の排出量・移動量の平成13年度との比較

対象物質		届出排出量・移動量(kg/年;ダイオキシン類はmg-TEQ/年)									
物質番号	物質名	年度	大気	公共用水域	土壌	埋立	排出量合計	廃棄物移動	下水道	移動量合計	合計
26	石綿	H14	31	64	0	0	95	3,167,806	12	3,167,818	3,167,913
		H13	35	104	0	0	140	4,159,173	34	4,159,207	4,159,346
		差	-4	-40	0	0	-45	-991,367	-22	-991,389	-991,433
		前年度比	88.6%	61.5%			67.9%	76.2%	35.3%	76.2%	76.2%
42	エチレンオキシド	H14	279,119	19,774	0	0	298,893	110,903	51,567	162,470	461,363
		H13	338,748	24,198	0	0	362,946	104,524	51,094	155,618	518,564
		差	-59,629	-4,424	0	0	-64,053	6,379	473	6,852	-57,201
		前年度比	82.4%	81.7%			82.4%	106.1%	100.9%	104.4%	89.0%
60	カドミウム及びその化合物	H14	2,619	4,794	0	119,428	126,841	197,093	7	197,100	323,941
		H13	2,348	5,858	0	155,093	163,299	71,629	7	71,636	234,935
		差	271	-1,064	0	-35,665	-36,458	125,464	0	125,464	89,006
		前年度比	111.5%	81.8%		77.0%	77.7%	275.2%	100.0%	275.1%	137.9%
69	六価クロム化合物	H14	694	13,713	2	8	14,417	932,469	795	933,264	947,681
		H13	1,198	18,835	2	1	20,036	649,757	3,659	653,416	673,452
		差	-504	-5,122	0	7	-5,619	282,712	-2,864	279,848	274,229
		前年度比	57.9%	72.8%	100.0%	800.0%	72.0%	143.5%	21.7%	142.8%	140.7%
77	塩化ビニル	H14	614,045	15,442	0	120	629,607	27,391	10,200	37,591	667,199
		H13	805,218	15,552	0	550	821,320	27,762	11,900	39,662	860,982
		差	-191,173	-110	0	-430	-191,713	-371	-1,700	-2,071	-193,783
		前年度比	76.3%	99.3%		21.8%	76.7%	98.7%	85.7%	94.8%	77.5%
232	ニッケル化合物	H14	6,722	98,648	2	112,679	218,051	4,143,311	21,078	4,164,390	4,382,441
		H13	11,481	105,144	54	135,770	252,449	3,178,340	29,042	3,207,382	3,459,831
		差	-4,759	-6,496	-52	-23,091	-34,398	964,971	-7,964	957,008	922,610
		前年度比	58.5%	93.8%	3.7%	83.0%	86.4%	130.4%	72.6%	129.8%	126.7%
252	砒素及びその無機化合物	H14	11,370	22,631	0	7,147,683	7,181,684	180,985	11	180,996	7,362,681
		H13	11,688	22,065	0	5,982,644	6,016,397	208,005	16	208,021	6,224,418
		差	-318	566	0	1,165,039	1,165,287	-27,020	-5	-27,025	1,138,263
		前年度比	97.3%	102.6%		119.5%	119.4%	87.0%	68.8%	87.0%	118.3%
294	ベリリウム及びその化合物	H14	0	1	0	0	1	1,297	0	1,297	1,298
		H13	0	1	0	0	1	1,360	0	1,360	1,361
		差	0	0	0	0	0	-63	0	-63	-63
		前年度比		100.0%			100.0%	95.4%		95.4%	95.4%
295	ベンジリジン＝トリクロリド	H14	0	0	0	0	0	76,440	0	76,440	76,440
		H13	0	0	0	0	0	224,620	0	224,620	224,620
		差	0	0	0	0	0	-148,180	0	-148,180	-148,180
		前年度比						34.0%		34.0%	34.0%
299	ベンゼン	H14	1,806,664	20,855	0	2	1,827,521	720,111	2,978	723,089	2,550,610
		H13	2,416,919	14,774	1	710	2,432,404	827,736	10,408	838,144	3,270,547
		差	-610,255	6,081	-1	-708	-604,883	-107,625	-7,430	-115,055	-719,937
		前年度比	74.8%	141.2%	0.0%	0.3%	75.1%	87.0%	28.6%	86.3%	78.0%
小計		H14	2,721,264	195,922	4	7,379,920	10,297,110	9,557,806	86,648	9,644,455	19,941,567
		H13	3,587,635	206,531	57	6,274,768	10,068,992	9,452,906	106,160	9,559,066	19,628,056
		差	-866,371	-10,609	-53	1,105,152	228,118	104,900	-19,512	85,389	313,511
		前年度比	75.9%	94.9%	7.0%	117.6%	102.3%	101.1%	81.6%	100.9%	101.6%
179	ダイオキシン類	H14	523,500	3,289	0	518,696	1,045,486	3,827,059	70	3,827,129	4,872,614
		H13	1,012,270	3,996	6	554,164	1,570,436	5,043,146	139	5,043,285	6,613,721
		差	-488,769	-707	-6	-35,468	-524,951	-1,216,087	-69	-1,216,156	-1,741,107
		前年度比	51.7%	82.3%	1.6%	93.6%	66.6%	75.9%	50.4%	75.9%	73.7%
合計		H14	2,721,265	195,922	4	7,379,921	10,297,111	9,557,810	86,648	9,644,459	19,941,572
		H13	3,587,636	206,531	57	6,274,769	10,068,994	9,452,911	106,160	9,559,071	19,628,063
		差	-866,371	-10,609	-53	1,105,152	228,117	104,899	-19,512	85,388	313,509
		前年度比	75.9%	94.9%	7.0%	117.6%	102.3%	101.1%	81.6%	100.9%	101.6%